

旧三好記念館コレクション 藏品展

古陶磁、 にほん。

1919年には財団法人三好園と改組され、
そして100年を経た2013年、
公益財団法人として認定。

創立100周年を記念した今回は、
日本の古陶磁に焦点をあてる。

お近くにお越しの際は、どうぞ
お気軽にお立ち寄りください。

常滑灰釉大壺

開催日時 平成25年6月8日(土)~6月23日(日)
10:00~16:00 ※休館日:6/10(月)、17(月)

会場 佐野市文化会館 展示室B
栃木県佐野市浅沼町508番地5

入場料 無料

主催・お問い合わせ先 公益財団法人 三好園
〒327-0317 栃木県佐野市田沼町362 TEL. 0283-62-5497
<http://www.sankouen.org/>



須恵器自然釉三足壺



伊万里色絵松竹梅文碗



吉瀬戸灰釉瓶子



古陶磁、にほん。

土器づくりに始まり、ロクロを使い焼成する須恵器。その生産を母胎にした猿投から常滑焼や瀬戸焼へ。貴族から武士の時代へと移り、備前、丹波、信楽、越前など地方の土豪や農民の生活にも焼物は広がる。歴史が動き、陶技開発は政治的な影響を受けながら、帰化陶工たちが比類ない磁器をつくりあげる。中国様式の模倣からはじまった伊万里焼は輸出時代を迎え、日進月歩の勢いで革新。日本の長い歴史とともに古陶磁をご堪能ください。



須恵器自然釉三足壺



古瀬戸灰釉瓶子



伊万里色絵松竹梅文碗



伊万里色絵花文稜花皿



伊万里色絵たらし込牛文皿



伊万里色絵紫陽花文皿

創立100周年をむかえ

田中正造翁没後100年を迎えた本年、翁と親交が深かった当園中興の祖である蓼沼丈吉が心血を注いで育てた三好園が同じく100周年を経て、4月1日より公益財団法人としてスタートを切ったことは大変意義深いことです。

当園の文化事業は、美術工芸品の展示を通じて、静かな環境の中で古き時代の良さを知り、地域文化の発展に貢献することを目的に三好記念館を設立したところに始まります。

平成20年に記念館が取り壊された後は、より多くの人に当園の美術工芸品を鑑賞していただき、地域文化の振興に貢献していくため、古陶磁を中心としたコレクションの展示会を開催しています。

写真:旧三好記念館(S49~H20)

